



小さな声を 大きな力へ

4年間の任期も折り返しとなりました。この2年間で
取り上げてきたことのほとんどは、区民の皆さんの
切実な思いです。一年間の振り返りを総括レポート
としてまとめました。

引き続き、介護従事者でもある議員として、高齢者・
障がい児者の声、家族の声、事業者の声を現場から
つなぎます。だれもが頼り合うことができ、“一人ひとり
違う能力を活かせる社会”をつくるために、これからも
皆さんと一緒に声をあげていきます。

がんばりすぎなくていい、ひとりぼっちにしない、ふん
ばってくださっているあなたのために行動し続けます。



公式LINE



関口江利子
公式サイト



SEIKO,SEIKUCHI,SETAGAYA
Instagram



Facebook



☎03-3420-0737

世田谷・生活者ネットワークHPからも
お問い合わせいただけます。

世田谷区議会議員 せきぐちえりこ 関口江利子

区政レポート 都市整備常任委員/環境・清掃・リサイクル対策等特別委員

広島県呉市生まれ広島市育ち、ヒロシマ被爆2世。家族は夫と娘(高校生)と柴犬。
98年成安造形大学情報デザイン学部卒、上京。就職氷河期にアルバイトから始め
た建築事務所でデザイナーとして従事。08年世田谷区へ転入。14年より介護保
険外の高齢者へ支援ボランティアを始め、生協理事に就任したことをきっかけに食・
環境・地域福祉の課題に取組む。18年より訪問ヘルパーとして障がい児者・高齢
者・子育て家庭の支援にあたる(現在も継続)。23年世田谷区議会議員初当選。

世田谷・生活者ネットワーク

所属委員会が変わりました

子ども・若者・福祉全般を取り扱う委員会に所属していましたが、2年の
任期を終え、都市整備や環境問題について審査する委員会へ変わ
りました。委員会に所属すると、その分野の情報のスピードと精度が格段
に上がります。都市計画やユニバーサルデザイン、環境問題への対策
は、地域活動として長年関心を持ち続けてきたことでもあります。
引き続き福祉分野での経験を活かしつつ、知見を広げていきます！

都市整備 常任委員会

【審査(調査)内容】

都市整備(ユニバーサルデザイン/
みどり整備/公園整備など)・住宅政策
(空家対策/住宅支援など)・交通政策
(豪雨対策/交通安全/コミュニティバスなど)

新規 設置!

環境・清掃・リサイクル対策等 特別委員会

【設置目的】

気候危機対策を含めた総合的な環境対策の
調査・研究、清掃工場の建替えやプラスチック
資源循環等への取り組みを強化するため

世田谷・生活者ネットワークは 議員2人で活動中!



世田谷区議会議員
関口江利子



世田谷区議会議員
おのみずき

カンパをお願いします

生活者ネットワークの活動は、カンパと
ボランティアで支えられています。
カンパは1口1,000円から、いくら
でも、いつでも受け付けています。

【ゆうちょ銀行】

世田谷・生活者ネットワー
ク 記号) 00110-1-765709
店名) 019 当) 0765709

※政治資金規正法により政治団体への匿名カンパは禁止されて
います。お振込の際にはご住所・お名前・ご職業を明記いただき、
別途お知らせいただきますよう、よろしくお願ひ致します。

3 世田谷・生活者 ネットワーク のルール

1 議員は交代制
(ローテーション)

2 議員報酬は
市民の政治
活動資金に

3 選挙は
カンパと
ボランティアで

【編集・発行】2025年7月20日
生活者せたがや23号
世田谷・生活者ネットワー代表/高岡潤子

〒154-0017 東京都世田谷区世田谷1-12-14 原ビル2階
TEL: 03-3420-0737 FAX: 03-3706-1744
https://setagaya.seikatsusha.me

世田谷から平和を

2025年は戦後80年、世田谷区平和都市宣言40年、せたがや未来の平和
館10年の節目です。この2年間で平和事業や平和教育について12回の質
問を重ねてきました。核兵器のない世界を目指し、政府への意見書も超党派
で2回提出しました。核抑止による平和論は成り立たないこと、核兵器廃絶
には日本にしかできない大きな役割があることを訴えました。

わたしの父と祖父母は、80年前の8月6日広島で被爆しました。壮絶な体
験をしたはずですが、話を聞けないうち祖母は54歳、祖父は76歳で原爆症
で亡くなりました。3月10日には、東京で9万5,000人もの人が亡くなる大空襲
がありました。初めて東京大空襲・戦災資料センターを訪れた時、炭化した
遺体が原爆の業火に焼かれたそれとあまりに酷似していて衝撃を受けたこと
を覚えています。

戦争は、当たり前日常や守られるべき尊厳が容赦なく奪われます。戦争
は決して起こしてはいけないうちに訴えると同時に、80年間、戦争も内戦もない
日本においては“戦争がない状態だけが平和ではない”ことについて次世代
と一緒に考える必要があると感じています。戦争当事者がいなくなる中、
今のわたしたちに何ができるのか、当事者でないわたしたちが残せるものは
何なのか。これからも問い続けたいと思います。



2025年7月、平和記念公園・本川小学校・Pride of Hiroshima・広島市などの戦跡を視察しました



議員提出議案第3号「核兵器のない世界」の実現に
向けたリーダーシップを求める意見書・賛成意見動画▶
●19:35～審議開始 ●34:45～関口賛成意見



関口江利子の 議会質問ふり返り

関口江利子がこの1年で取り組んできた主な議会質問です。アーカイブはQRコードからご覧いただけます。



【2024年9月/第3回定例会】

- ① 閉鎖されている「上用賀公園拡張計画地」を災害時に利用できるようにせよ
- ② 区の清掃職員の人材確保を進めよ
- ③ 学校の枠に入れるのではなく、子どもを中心にしたつまぎの支援体制を強化せよ
- ④ 介護事業所への独自支援を強化せよ

【2024年決算特別委員会】

- ① 障がい者の雇用の向上と働き続けられる支援を行え
- ② 「東京2025デフリンピック」を機に区民に障がい理解とパラスポーツを浸透させよ
- ③ 戦後80年せたがや未来の平和館40年を機に、記念イベント・施設リニューアル等すすめよ
- ④ 「上用賀公園拡張事業」における、人工芝のマイクロプラスチック対策と24時間開放の住民不安に応えよ

【2024年11月/第4回定例会】

- ① 子どもの学校生活のつまぎへの支援に作業療法士を配置せよ
- ② 特別支援学級だけでなく学校全体で障害の社会モデルに取り組み
- ③ 世田谷清掃工場の建替えに向け、開かれた情報と区民参加を行え

【2025年2月/第1回定例会】

- ① 意思あるすべての障がい者が選挙に投票できる環境を整備せよ
- ② 障がい児者や認知症の人が安心して受診できる歯科診療所を拡充せよ
- ③ 介護事業者へ始めるコンサル事業は、合理化ではない経営支援でサービスの質を維持せよ

【2025年予算特別委員会】

- ① 熱中症対策「お休み処」で配布されるペットボトルをアルミ缶へ
- ② 区役所全体でのプラスチック削減を進めよ
- ③ 「上用賀公園拡張事業」は、公園協働コーディネーターを採用し、地域住民や子どもと一緒に地域に必要な公園づくりをせよ
- ④ 知的障害者のがん検診率を向上させよ
- ⑤ 一時保護所の食事に有機米や地産地消の「せたがやそだち」を導入せよ
- ⑥ マイクロプラスチック対策が万全でない人工芝を区立学校の校庭に導入すべきではない
- ⑦ いわゆる不登校の児童生徒が学校(社会)と関わり続けるための機会をつくれ

【2025年6月/第2回定例会】

- ① せたがや未来の平和館と連携して子どもへ平和教育を進めよ
- ② 区職員および介護職員へのカスタマー・ハラスメントを防止せよ

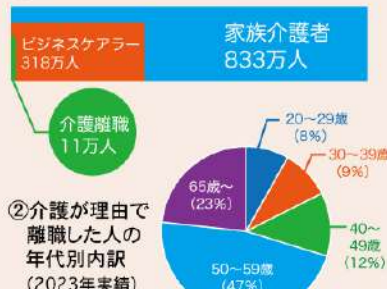
介護

いつか自分も、介護する人・される人

介護と聞くと、自分にはまだ早い(関係ない)と思われる方が多いようです。介護保険制度は、介護する家族のための仕組みです。親がいない人はいません。多かれ少なかれ必ず介護はやってきます。2024年、国の介護保険制度の改定で介護の最初の入り口である訪問介護の報酬が引き下げられ、介護事業所の経営不振やヘルパー不足、自己負担額の増加がますます深刻になりました。介護サービスが受けられなくなった結果、**子育てや仕事をしている家族が介護を担わざるをえない状況**になっています。

介護事業者への区独自の支援が必要だと訴え続けてきました。2024年6月、区民からの陳情が全会一致で採択されたことが大きな後押しとなり、8億7,500万円の24年度補正予算が組まれ、介護事業者へ給付金が支払われました。介護家族は、介護をやりたくなくて制度の充実を求めているわけではありません。**親と共倒れにせず、自分の生活も守るためには、なんとしても介護事業者に生き残ってもらわなければならない**のです。区が言い訳にしている「介護は国のやることだから」では、国がやるより前に区民が潰れてしまいます。介護する家族を社会の仕組みで支えていくために、より一層力を入れていきます。

① 介護を取り巻く家族状況(2030年予測)



介護と仕事の両立をしている人は年々増え、介護を理由に仕事を諦める人の7割以上が女性です。介護が終わった後、貧困化する人も少なくありません。

①出典：経済産業省「経済産業省における介護分野の取組について」/2024年
②出典：厚生労働省「雇用動向調査」/2023年

環境

本気の気候変動対策がはじまります

気候変動対策について取り上げる議員がとても少ない中、関口・おのがコツコツと重ねた質問がすこしずつ形になってきています。

1 1年半に渡り、地道な調整を続けてきた熱中症対策「お休み処」での脱プラスチックと気候変動対策の啓発が、ようやく形になりました。2024年に8万6,400本提供した**ペットボトル飲料のうち4万5,600本がアルミ缶の水に!** アルミ缶の水平リサイクル率は73.8%、ペットボトルは29%です。冊子やホームページ、2ヶ所のお休み処では気候変動対策についてアピールされています。また、**区役所全体にプラスチック削減方針が示され、会議飲料や事務用品など幅広く脱プラを進めることになりました。**

2 カーボンニュートラルに向けた実効性と具体的な策を示すよう訴えてきました。2025年2月、区は2030年までの家庭におけるCO₂の削減目標を20.57万トンに上方修正し、家庭への再生可能エネルギー導入の補助や、住宅の断熱化リノベーション支援など、具体的な施策を示しました。加えて、区立小学校における環境教育の実施などを含め、「**UCHIKARAプロジェクト**」が始動しています。

3 2026年度より、砧公園そばの**世田谷清掃工場の建替え工事が始まります。焼却炉の規模は、300トンから600トンに拡大**する計画のため、排出されるCO₂・大気汚染物質の増加が心配です。また、ごみの焼却可能量の拡大は、大量廃棄・大量消費を促進し、ひいては製品をつくる時のCO₂排出量の増加にもつながる可能性があります。今後は、新設された「環境・清掃・リサイクル対策等特別委員会」の中で、十分な審議を重ねていきます。



△ペットボトルからアルミ缶入りの水へ!



＜UCHIKARAプロジェクト＞

住民自治

区民とともに成長・変化する公園を

2032年に開園予定の「上用賀公園拡張事業」は、防災機能とスポーツ施設をあわせ持つ都市公園として整備する計画です。区は、「区民とつくる公園」を打ち出して、基本計画の策定のためのワークショップや説明会を開催してきましたが、策定後はつながりが希薄化し、委託事業者と区で進める「住民不参加公園」になりそうでした。

➡そこで、地域の皆さんと一緒に懸念を伝えた上で協議を重ねたことで、開園後も行政・運営事業者・地域住民・利用者のほか、町会等の地域組織や公園運営に関するNPO等の団体、周辺の大学、近隣の小学校や児童館、福祉施設など**様々な主体が参画する会議体**を設けることになりました。

➡さらに、開園前のできるだけ早い段階から会議体の設置をするよう求めています。加えて、**会議体の円滑な連携を創出し公園の潜在能力を引き出すために「パークコーディネーター」を導入することを提案し、配置を検討しているところ**です。



上用賀公園拡張事業オープンイベント。地域の団体や児童館などがさまざまなプログラムを実施。